

2020年度

事業報告書

特定非営利活動法人 森づくりフォーラム

事業の成果

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業・プログラムの中止・延期が発生した。その結果、事務局運営において資金面で影響があった一方で、リモートワークの導入も進んだ。事務局会議、関係者との打ち合わせは Zoom によるオンライン実施に移行した。また Microsoft365 を導入し、データ共有サーバの移行準備を進め、スタッフ用 PC・リモートワーク用デバイスを購入した。

また、オンラインツールを活用する動きが生まれた。初めてオンライン配信によるシンポジウム・講座を実施し、一部はアーカイブ映像を YouTube に公開し、オンラインでの情報発信を強化し、個人の入会・寄付は増加した。並行して会員・寄付者・関係者データベース更新に向けた移行作業も進めた。

ロゴマーク刷新にあたっては公募を実施し、170 件の公募があった。結果、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を選出した。最優秀賞となったものを公式ロゴマークとして、各広報や情報発信時に活用する。事業の 3 本柱[活動支援、調査研究・政策提言、普及啓発]における成果は以下の通り。特に「森林と市民を結ぶ全国の集い」は初のオンライン形式で開催し、延べ 746 名が参加したこと、また 20 の取材を通じて作成した「人工林の多様性を高める森づくり事例ガイド集」の公開は大きな成果となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 13,707 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
森づくりに関する情報の集・提供および調査研究	【森林社会学研究会事業】2015 年度よりスタートした連続講座シリーズを、計 5 回オンライン配信で実施した。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京ほか	3 名	講座、企画委員会参加者	6006 名	850
森づくりに関する情報の集・提供および調査研究	【人工林の多様性を高める手法・事例の調査】「人工林の多様性を高める森づくり事例ガイド集」を作成・公開した。また、フォレスト 21 さがみの森において多様性を高めるための調査と計画作成を行った。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京、神奈川	2 名	情報収受者	91	2,813
森づくりに関する情報の集・提供および調査研究	【森づくり団体向けの SDGs 意識調査】森をつくる・活かす活動の団体運営者・参加者に向けた SDGs 意識調査を行った。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京	1	アンケート回答者	99	186
森づくり活動を行う団体間の交流、協力進捗を促進し、ネットワークを構築する事業	【森林と市民を結ぶ全国の集い】25 回目となる「森林と市民を結ぶ全国の集い 2021」を 2021 年 3 月 7 日～2021 年 3 月 14 日までオンライン形式で開催し、延	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京、岩手、宮城、福島	4 名	実行委員会、イベント参加	884 名	1,778

	べ 746 名が参加した。				者		
森づくりの交流、関係の構築、事業、	【東京の森づくり団体ネットワークづくり】東京近郊の森づくり団体を対象に、チェーンソー講習を 2 度実施した。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京	3 名	講習参加者	39 名	201
森の自然環境の保全、啓蒙、人材の養成、研修、講習	【初心者へ向けた森づくり体験会と指導者層の育成事業】「初心者のための森づくり体験会 2020」プログラムを実施した。緊急事態宣言中のプログラム数回分が中止・延期の影響を受けた。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京	3 名	イベント参加者	49 名	688
森林ボランティア保険事業、森づくり活動の推進、人材の養成、研修、講習	【グリーンボランティア保険業務】グリーンボランティア保険の窓口業務を継続して行った。保険利用者は昨年度比で大幅に減少した。加入促進 PR キャンペーンを行った。また、保険料を支払うための一定期間をまとめて行えるような制度を試験団体数 5 団体で試行した。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	全国	4 名	保険利用者	39,174 名	2,994
森の自然環境の保全、啓蒙、人材の養成、研修、講習	【フォレスト 21「さがみの森」】2 月の森林ボランティア体験活動を実施。緊急事態宣言中は活動を中止した。生物調査なども並行して行った。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	神奈川	2 名	活動、イベント参加者	162 名	1,903
その目的を達成するための事業	【多摩の森・大自然塾】1 月の森林ボランティア体験活動、また学生を対象とした森林体験講座を実施した。緊急事態宣言中は活動を中止した。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京	3 名	活動参加者	28 名	0
その目的を達成するための事業（受託事業）	【企業の森】東京都の「花粉の少ない森づくり運動」参画企業向けに森林整備を 1 回行った。 【オンラインセミナー受託】森林保全に関わるオンラインセミナーの配信サポート業務を行った。 【野外活動のコロナ対策動画作成の受託事業】野外活動団体・主催者向けにコロナ対策動画作成・編集を行った。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京	2 名	活動参加者	30 名	968
その目的を達成するための事業	【木下沢溪谷冒険の森】1 月の森林整備・管理作業や、一般に向けたプチ体験イベント、親子体験イベントを実施した。緊急事態宣言中は活動を中止した。	2020 年 4 月～2021 年 3 月	東京	3 名	活動参加者	49 名	819

森林の保全 よび自然環境 を守るため 普及啓発	【広報事業】 機関誌として活動レポ ートを年4回、特集号を1 回発行した。また月2回の メールマガジンの発行や WEBサイト・Facebook・ Instagra 等により情報発 信を行った。	2020年4 月～2021 年3月	全国	4名	一般市 民、森づ くりフォ ーラム会 員	10,707 名	502
----------------------------------	---	-------------------------	----	----	----------------------------------	-------------	-----

I. 事業に関する事項

1. 調査・研究に関する事業

(1) 森林社会学研究会事業

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井、原田、宮本
受益対象者の範囲及び人数	YouTube 再生回数計 2,200 回、Facebook Live 再生回数 3,717 回 当日オンライン参加者：89 名
会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/24 特別回 新型コロナウイルス以降の森づくり YouTube ライブ配信（無料） 当日再生回数：714 回 ・ 6/12 第 18 回 森の人に聞く！これからの森の楽しみ方・ふれあい方 Facebook ライブ配信（無料） 当日再生回数：1,527 回 ・ 7/2 協力事業（一般社団法人 森と未来）心を整える森の役割を考える Facebook ライブ配信（無料） 当日再生回数：1,180 回 ・ 8/20 第 8 回企画委員会 オンライン会議 参加：5 名 ・ 9/25 第 9 回企画委員会 オンライン会議 参加：7 名 ・ 10/30 第 19 回 次世代林業家の挑戦！まちと森をつなぐ新しい林業 Zoom ウェビナー（有料,会員無料） 当日参加者：30 名 ・ 12/18 脳・身体と森との関わりから考えるウェルビーイング YouTube ライブ配信（会場：グラムデザイン）視聴申込み数：257 名 ・ 2/17 第 20 回 次世代が提案する新しい林業のカタチ Zoom ウェビナー（有料,会員無料） 当日参加者：59 名
報告	年間の講座内容を検討する企画委員会のメンバーを新たに 2 名加え、企画運営体制を強化した。コロナウイルス感染拡大を受け、これまでの会場での実施から、オンライン配信形式へと移行し、様々な配信サービス利用を試行し、アーカイブ視聴を含めて多くの視聴参加を得た。

(2) 指標づくり

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本

報告	「森とともに暮らす社会」を測る指標項目案を作成した。また指標を測るための調査手法や関連情報の収集も行った。
----	---

(3) 森林づくり活動に関わる調査

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
報告	森をつくる・活かす活動の団体運営者・参加者に向けたSDGs意識調査を独自で行い、その調査結果は「SDGsハンドブック」(国土緑推発行)に掲載され、WEBページにも公開した。

(4) 人工林の生物多様性を高める手法・事例の調査

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井、宮本
受益対象者の範囲及び人数	91名(下記の参加者・スタッフの総数)
会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・6/8 植生調査・施業場所フィールド確認 人数：4人 ・7/10 昆虫調査フィールド案内 人数：3名 ・7/22 キックオフミーティング 場所：本会事務所(オンライン) 人数：12名 ・8/6 昆虫調査・イベント下見 人数：4名 ・9/15 植生調査 人数：4名 ・9/20-21 昆虫調査・イベント 場所：さがみの森 人数：11名 ・9/22 昆虫調査 人数：2名 ・11/25 植生調査 人数：3名 ・3/3 植生調査 人数：3名 ・3/22 昆虫調査 人数：2名 ・9月～12月 原稿執筆・インタビュー・現地取材 人数 原稿執筆：6名 インタビュー・取材協力：29名 取材者：8名
報告	「人工林の多様性を高める森づくり」について参考となる知見・事例情報を集め、原稿作成や取材依頼を行い、ベータ版を2021年3月にWEB公開した。本事例ガイドは単一樹種で構成された人工林を、多様性のある森にしていくために参考となる知見・事例を集めたものとなっている。3部構成となっており、第1章では世界の森づくりにおける潮流について、第2章では、人工林・混交林と生態系との関係について、3章では、人工林の多様性を高める森づくりを実践している、行政・自治体、企業、広域での連携・協働事例を紹介している。また本ガイド作成と平行して、市民参加型の実践モデルを行う予定の「フォレスト21 さがみの森」に関して、生物調査・イベントを行いながら施業計画の

	策定を進めた。
--	---------

(5) 森林・林業基本計画案への提言

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
報告	5年ごとに変更される森林・林業基本計画について、会員からの意見・提案を取りまとめ、林野庁に提出した。意見内容は林野庁 HP 内、林政審議会（令和2年10月12日）ページにて公開されている。 詳細 URL : https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/singikai/201012si.html

2. ネットワークに関する事業

(1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井、鹿住、中沢、宮本
受益対象者の範囲及び人数	884名（下記開催の参加者・スタッフと実行委員会の延べ参加者総数）
会議等の実施日時・人数	<p>・3/7～14「第25回森林と市民を結ぶ全国の集い2021」 場所：岩手・宮城・福島および東京を拠点にオンライン 人数：延べ746名</p> <p>・「第25回森林と市民を結ぶ全国の集い2021」実行委員会</p> <p>7/22 準備会 オンライン会議 人数：4名</p> <p>8/25 プレ会 オンライン会議 人数：14名</p> <p>9/25 第1回 オンライン会議 人数：20名</p> <p>10/13 第2回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：17名</p> <p>10/23 第3回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：16名</p> <p>11/10 第4回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：16名</p> <p>12/21 第5回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：18名</p> <p>1/12 第6回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：15名</p> <p>2/16 第7回 場所：ダンクソフト（オンライン） 人数：18名</p>
報告	2020年3月14日（土）～15日（日）東京農業大学で開催予定だった第24回は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となり、実行委員会事務局として、その事後処理を行った。また、9月から実行委員会を立ち上げ、2021年3月7日（日）～14日（日）「第25回森林と市民を結ぶ全国の集い2021」を、岩手・宮城・福島および東京を拠点にオンラインで開催した。テーマは、「『森林と市民を結ぶ』新たなカタチ～東日本大震災から10年、コロナ禍のいま～」。初めてのオンライン、また、8日間という長い日程での実施であったが、まさに「新たなカタチ」にチャレンジし、大きな収穫を得ることができた。

(2) 東京の森づくり団体ネットワークづくり

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井
受益対象者の範囲及び人数	39名（下記開催の参加者の総数）
会議等の実施日時・人数	・7/21 チェンソー特別教育補講1回目 人数：27名 ・7/31 チェンソー特別教育補講2回目 人数：12名
報告	東京都の森づくり団体とのネットワークの強化、また森林ボランティア安全対策の普及・啓発を目指し、東京都で活動する会員向けにチェンソー特別教育補講研修を2回実施した。第3回目として実際のフィールドでの補講を企画し、3月実施予定であったが、緊急事態宣言を受けて中止・延期となった。

3. 人材育成の事業

(1) 初心者へ向けた森づくり体験会と指導者層の育成事業

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	東京都内8カ所
担当者	石井、石山、松井
受益対象者の範囲及び人数	49名（下記開催の参加者・スタッフの総数）
会議等の実施日時・人数	<初心者のための森づくり体験会 2019-2020 特別回> ・9/19 団体：高尾グリーン倶楽部 人数：21名 ・11/29 団体：お日の森くらぶ 人数：17名 ・12/6 団体：日の出三六会 人数：11名
報告	4月～5月は、「初心者のための森づくり体験会 2019-2020」の後半プログラムを予定していたが、コロナウイルス感染拡大のため中止となった。その代替開催として「初心者のための森づくり体験会 2019-2020 特別回」を9月～12月にかけて開催した。 また、2021年3月は、「初心者のための森づくり体験会 2021」の第1回プログラムを予定していたが、雨天延期となった。

4. 森林ボランティア活動支援の事業

(1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業・補助事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、久保田、樋口、宮本
受益対象者の範囲及び人数	下記表を参照
報告	保険利用はコロナウイルス感染拡大に伴い、利用実績は前年度比で減少した

	が、保険利用件数の減少に比べ、保険利用人数の減少幅が大きかった。事故件数も昨年度比で半数近く減少している。2021年1月から3月にかけて、小規模事業持続化補助金を活用してPRキャンペーンを実施し、期間中の新規登録は昨年度比で60%増加した。また保険料支払について一定期間をまとめて行えるような制度を、試験団体数を昨年度と同団体で継続試行した。
--	---

【グリーンボランティア保険 登録団体 状況】(2020年度実績)

前年度	2020年度新規登録	未更新	更新数	前年度比	利用団体数 計
624	100	119	505	-19	605

・2019年度新規登録：121団体

<件数> (2020年4月1日～2021年3月31日までの実績)

	第一種	第二種	賠償責任部分	合計	前年度比(%)
保険利用件数	3,480	3,552	7,032	7,032	90
保険利用人数	26,800	12,374	39,174	39,174	66
保険料	1,742,136	6,669,451	5,611,260	14,022,847	82
事故件数	11	12	3	26	43
保険金支払額				868,850	57

(2) 森林ボランティア安全対策の普及・啓発

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	久保田、宮本、山田
受益対象者の範囲及び人数	ハチ刺され記事閲覧数：521
報告	過去5年分の事故報告のデータベースをセールスフォース・ドットコムボランティア協力を得ながら集計を行った。森の安全を考える会の協力を得て、ハチ刺され時の対応を記事としてまとめWEB上で発信した。また、都の緑の募金を活用して、チェンソー特別補講を会員向けに2回実施し、動力利用時の安全対策の普及啓発を行った。

5. フィールド事業

(1) フォレスト21「さがみの森」

[助成事業・補助事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha（神奈川県相模原市緑区青山）
担当者	石井、宮本
報告	4月～5月の定例活動・協議会、1月～2月の定例活動は、新型コロナウイルス

	感染拡大のため中止とした。再開後も定例活動日は雨天が多く中止となる日が多かった。通常の森林整備作業に加え、昨年の台風被害の復旧作業を行った。協議会は Zoom を活用しオンラインで実施した。また、地球環境基金の事業を並行して進めた。
--	--

(2) 多摩の森・大自然塾 定例活動 [自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
主担当者	鹿住、宮本
報告	新型コロナウイルス感染拡大のため、毎月第3日曜日の定例活動は、ほとんどを中止とした。活動できたのは、再開に向けてスタッフのみでシミュレーションを行った7月、10月、参加者も参加して実施した11月のみとなった。なお、毎月第1日曜日開催の鳩ノ巣協議会はオンライン形式で実施した。

(3) 企業の森 [受託事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	東京都青梅市
主担当者	久保田、宮本
報告	SBS リコーロジスティクス社より依頼があり、イベント前整備として下刈り作業を10月に実施した。これまで森づくりフォーラムが関わって来た企業は、予定されていた10年の活動期間が終了している。企業によっては引き続き活動したいとの意向もあり、東京都農林水産振興財団と相談しながら対応を考えていきたい。

(4) 木下沢溪谷冒険の森 [助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	東京都八王子市裏高尾町
主担当者	松井、宮本、樋口
会議等の実施日時・人数	・4/30 事業引継ぎ打ち合わせ 会場：高尾グリーンセンター 参加5名 ・7/14 幹事会 会場：荻窪会議室 参加：6名
報告	運営を参加ボランティア主体に移行するため、事業引継ぎと役割分担の整理を幹事会メンバー中心に行った。2020年7月以降、森づくりフォーラムでは助成先への計画申請と活動報告、およびイベント等の広報協力を行うこととなった。

<フィールド事業 2020年度活動成果>

事業名	活動実施日	活動スタイル	実施回数	2020年度延べ参加者数	2019年度延べ参加者数
-----	-------	--------	------	--------------	--------------

初心者のための森づくり体験会	9/19、11/29、12/6	イベント	3	49	174
フォレスト 21 「さがみの森」	5/5、6/26、6/28、7/1、7/11、 8/8、9/27、10/25、11/14、11/22、 12/12、12/26、3/15、3/28	定例活動、 臨時活動	14	162	398
木下沢溪谷冒険の森 (事務局運営時)	4/12、5/10、6/12、6/14	定例活動、 臨時活動、 イベント	34	45	269
多摩の森・大自然塾	7/19 (スタッフのみ)、10/18 (スタッフのみ)、11/15	定例活動	3	28	320
人工林の生物多様性を高める手法・事例の調査	6/8、7/10、8/6、9/15、9/20-21、 9/22、11/25、3/3、3/22	モニタリ ング調査、 イベント	9	36	-

6. 広報事業

(1) 機関誌『森づくりフォーラムだより』及び『森づくりフォーラム特集号』の発行 [自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井、中沢、宮本、村田
報告	『森づくりフォーラムだより』(簡易活動レポート)を4回(4月、8月、11月、3月)発行した。『森づくりフォーラム特集号』は、2020年度の発行が出来なかったが、WEBストアで一般販売し、2020度は合計11冊の売上があった。

(2) メールマガジン『森フォ通信』の発行 [自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井、中沢、宮本
報告	森づくりフォーラムの活動や森林に関わる情報発信を行った。オンライン講座や新ロゴマーク募集の機会を通じて読者数を増やした。また、WEBサイト内のバックナンバーをFacebookで発信し、メルマガ登録申し込みフォームへの導線を強化した。

(3) メールマガジン『東京の森づくり団体 活動お知らせ』の発行 [自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井

報告	「初心者のための森づくり体験会」の参加者・申し込み者に向けて、体験会協力団体の定例活動やイベント情報の発信を月1回実施した。メールマガジンの情報統一のため、2021年3月で発行終了とした。
----	--

(4) 森づくりフォーラム WEB サイトの運用

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、宮本
報告	各イベントや講座の告知情報をはじめ、「団体紹介記事」、「内山節ライブラリー」、関連情報の掲載等の情報発信を行った。特にイベント告知時に Facebook 投稿との関連性を高めた結果、月間ページビュー数は昨年度比で 82%増加した。また、ロゴマーク刷新に合わせて WEB サイトのアップデートに向けた準備を進めた。

(5) SNS (Facebook、Instagram、YouTube) の運用

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、中沢、樋口、宮本
報告	Facebook では、シンポジウム・イベントなどの広報告知、WEB サイト記事へのリンクなどの情報発信を行った。Instagram では、活動中の写真を活用した投稿をし、活動 PR や森林・林業の普及啓発等を行った。また、YouTube は森づくりフォーラムチャンネルを開設し、オンライン講座のライブ配信や過去開催した講座の一部をアーカイブ化した。

【各情報発信ツールの推移】

ツール名	投稿、発行頻度	フォロー、アクセス数 (2019年度)	フォロー、アクセス数 (2020年度)
メールマガジン	月2回	2,921 (内まぐまぐ：409)	3,450 (内まぐまぐ：385)
メールマガジン (東京森づくり)	月1回	168	181
FB(森フォ)	月に約4記事 投稿	3,089	3,659
FB(全国の集い)	イベント開催前に投稿	945	1,375
WEB	ほぼ毎週更新	38,000 (月 3,164)	46,000 (月 3,833)
Instagram	週2日更新	3,500	3,887
Twitter	随時	84	112
YouTube	随時	0	241

【WEB フォーム入力ボタン設置による成果】

フォーム種別	2019 年度実績	2020 年度実績
メールマガジン登録フォーム	91	121
会員入会フォーム	13	17
グリーンボランティア保険登録フォーム	119	105
さがみの森参加申し込みフォーム	13	2

II. 総務に関する事項

1. 会議

- | | |
|------------------|--|
| (1) 第 2 1 回通常総会 | 2020 年 5 月 24 日 |
| (2) 第 4 2 回定期理事会 | 2020 年 5 月 23 日 |
| (3) 第 4 3 回定期理事会 | 2020 年 11 月 20 日 |
| (4) 運営委員会 | 2020 年 4 月 13 日、7 月 17 日、10 月 16 日
2021 年 1 月 22 日 |
| (5) 事務局会議 | 2020 年 4 月 28 日、5 月 14 日、6 月 22 日、8 月 20 日、9 月
17 日、11 月 12 日、12 月 14 日
2021 年 2 月 2 日、3 月 2 日 |
| (6) 広報委員会 | 事務局会議と併催 |

2. 会員の拡大

実施期間	2020 年 4 月～2021 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	運営委員会及び事務局
報告	今年度はオンライン配信時に入会の呼びかけを行った。またメールマガジン購読層やグリーンボランティア保険利用層に向けても働きかけた。また、オンラインイベントでの参加費の差別化や特典内容を見直し、入会を促進した。

会員数の推移（2020 年度実績）

	2019 年度 会員数	新規 会員数	退会 会員数	2020 年度 会員数	2019 年度 未納
個人正会員	1 2 0	1 5	3	1 3 2	5
個人賛助会員	7 8	1 4	8	8 4	5
個人会員計	1 9 8	2 9	1 1	2 1 6	1 0
団体正会員	7 3	1 6	4	8 5	7
団体賛助会員	3	0	0	3	
団体会員計	7 6	1 6	4	8 8	7

※新規/退会会員数は、個人正会員から個人賛助会員へ1人、個人賛助会員から個人正会員へ2名・団体正会員へ1名への切り替え数を含む。

3. 寄付の促進

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、宮本
報告	オンラインイベント実施時やWEBサイトでの情報発信時への呼び掛け、体験会やメールマガジン発信時でも呼びかけを行った結果、個人の単発寄付は増加した。

4. データベースの構築・運用

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	樋口、宮本
報告	会員、グリーンボランティア保険利用団体、関係者などのデータベース管理を改めるため、データベースソフトを購入し、フォーマットを作成した。また、オンライン、リモートワークにも適用可能なデータベース構築を検討した。

5. リモートワークの導入と業務効率化の検討

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、樋口、宮本
報告	常勤スタッフ2名について週1-4日程度のリモートワーク勤務を試行した。合わせて様々なWEBサービスを導入・活用した。また東京都テレワーク助成を活用し、事務局PCの購入とリモート勤務用のヘッドセット等を購入した。

6. インターンシップ制度とプロボノの活用

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、宮本
報告	昨年度に引き続き SOMPO 環境財団による CSO ラーニング制度を活用し、大学生インターン1名が週1回リモート勤務を含めて業務協力を行った。 またサービスグラントのプロボノ支援制度を活用し、パーソル HD 社の協力のもと、対企業向けの協働提案資料の作成と問い合わせ時のフロー整理を行っ

た。

7. 各種委員会への出席

- ・2020年9月18日 東京都緑の募金運営協議会 出席：松井理事
- ・2020年度森林・山村多面的機能発揮対策交付金（東京・神奈川・埼玉）（書面審議）担当：松井理事
- ・2020年12月10~16日 東京都森林審議会（書面審議）担当：久保田理事
- ・2021年1月27日 東京都花粉の少ない森づくり推進委員会（書面審議）担当：久保田理事
- ・2021年2月19日 2020年度セブン-イレブン記念財団助成専門審査会 出席：宮本
- ・2021年2月4日・東京都緑の募金運営協議会（オンライン実施）出席：松井理事

III. 事務局体制

常務理事・理事と事務局職員によって、月に1回程度事務局会議を行う。事務局の構成メンバーは以下のとおり。

<常務理事>	〔非常勤〕
鹿住 貴之	認定NPO法人JUON（樹恩）NETWORK
<理事>	〔非常勤〕
松井 一郎	森林インストラクター東京会
<事務局長>	
宮本 至	〔常勤〕
<事務局職員>	
石井 春花	〔常勤〕
中沢 和彦	〔非常勤〕
樋口 満里	〔非常勤〕
<ボランティアスタッフ>	
村田 央	

IV. 運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則3カ月に1回程度、各事業の進捗状況の確認および必要な事項を協議する。構成メンバーは、上記の常務理事・理事、事務局常勤職員のほか以下のとおり。

<副代表理事>	
原田 敏之	愛知生態系ネットワーク協議会
<理事>	
赤池 円	私の森.jp

<理 事>

石山 恵子 遊学の道 Project

<理 事>

久保田 繁男 西多摩自然フォーラム

<理 事>

水谷 伸吉 一般社団法人 more trees

<理 事>

松村 正治 NPO 法人よこはま里山研究所

<事務局職員>

中沢 和彦